



電話でお金は全て詐欺！～すぐに相談・110番～

平成27年中の福岡県内におけるニセ電話詐欺の被害額は18億4,346万円(昨年同期比+5億5,158万円)で過去最悪を記録しています。類型別発生状況については、架空請求詐欺、オレオレ詐欺、還付金等詐欺が発生件数、被害額ともに全体の8割以上を占めています。

架空請求詐欺

郵便、インターネットなどで不特定多数の人に、架空の債権を口実とした料金を請求し、現金を口座に振り込ませるなどし、だまし取る詐欺

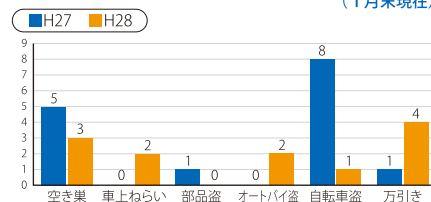
オレオレ詐欺

電話で親族、弁護士などを装い、借金返済、会社でのトラブルなどを名目に、現金を口座に振り込ませるなどし、だまし取る詐欺

還付金等詐欺

税金還付などに必要な手続を装って被害者にATMを操作させ、口座間における送金により財産上不法な利益を得る詐欺

小郡警察署管内の犯罪および交通事故の発生状況
(1月末現在)



○刑法犯発生件数	21件(－13件)
○交通事故発生状況	
発生件数	25件(－18件)
死者数	0人(±0人)
傷者数	30人(－26人)

※()は、昨年同月比を示す

「電話でお金は全て詐欺！すぐに相談110番」と覚え、皆さんでニセ電話詐欺を撲滅しましょう。

毎月9日は
防火の日

こちら119

久留米広域消防本部
三井消防署 ☎72-5101



3月1日～7日は春の火災予防運動

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防の意識を高めることで、火災の発生を防止し、尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

「住宅用火災警報器」の点検はしていますか？

月に1回程度作動点検を

作動確認用のボタンを押すか、下がっているひもを引き、音声などが鳴れば異常はありません。

警報器本体の寿命は約10年

製造年月日を確認し、古いものは交換を。また、電池の寿命は5～10年なので、本体と併せて確認しましょう。

火災警報器が作動し、命を取りとめた事例

居住者が2階寝室で就寝中、警報器の鳴動で目が覚め、1階子ども部屋から煙が出ているのを発見した。水道ホースを使用して早期に初期消火をすることができたため、被害を最小限に抑えることができた。

平成27年度
全国統一防火標語
「無防備な
心に火災が
かくれんぼ」



消費生活相談室

小郡市消費生活相談室
☎72-2111内線144

窓口開設日
毎週月・火・木・金曜日
午前9時～正午、午後1時～4時

医療費や税金などの還付金詐欺にご注意

市役所職員を名乗る人物から電話があり「医療費を還付する案内はがきを送っているが、届いてないか？」と言われた。「届いてない」と答えると、「スーパーのATMに行って、指定の電話番号へ連絡するように」と指示された。指定先に電話をかけ、指示されるままATMを操作したが、出てきた明細書をみると、90万円を振り込んだことになっていた。(県内、60歳代、男性)

ひとこと
助言

- 市役所から税の還付や医療費の還付がある場合は、「書面」で通知があります。ATMの操作をお願いすることや暗証番号を尋ねることは絶対にありません。
- 小郡市内でも、ニセ電話詐欺が多数報告されています。お金の話、個人情報などに関する電話は全て詐欺です。
- 不審な電話は早めに切る、留守番電話に設定しておくなど、日頃からニセ電話に対応しておきましょう。

※イオン小郡内「おごおり情報プラザ」で、被害防止の啓発DVDを放映しています。また、不審な電話がありましたら、消費生活相談室までご連絡ください